



YCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信

第2号 令和3年10月8日発行

第2回学校運営協議会が行われました

9月30日に第2回学校運営協議会が行われ、「子どもたちの自立と社会参加に必要な力と学校の役割」をテーマに、中学部パワーアップ週間（作業学習強調週間）、高等部作業学習の参観と、協議が行われました。御参加いただきました委員の皆様ありがとうございました。

作業学習参観



中学部の作業学習

～働く意欲を培い、基本的な態度を身に付け、働く喜びや達成感を高める～

- ・週2回（6時間）・縦割りグループ・4つの作業班（農園芸、陶芸、ビーズ、手芸）
- ・数を数えるなど各教科の内容、挨拶・言葉遣いなどを学習し生活に生かしています。



手芸班～コンビニバッグ製作～



陶芸班～アロマストーン製作～



農園芸班～花の結束作業～

高等部の作業学習

～将来の職業生活や自立的な生活を目指して、实际的に学習し、働く意欲や力を高める～

- ・週2回（10時間）・縦割りグループ
- ・7つの作業班（木工、陶芸、ビルクリーニング、農園芸、事務・デザイン、家庭、食品加工）
- ・自動車販売店の校外清掃やアンテナショップの管理運営など地域資源を生かした学習を展開しています。



食品加工班～ジャム作り～



家庭班～ネックレス等製作



事務デザイン班～販売準備～

本校の職業教育

- ・キャリア・パスポートの作成～夢に向かって目標を立て、支援を考え、自己実現に向かう。
- ・近隣の施設、通学路の清掃～地域に貢献する気持ちを、働く意欲につなげる。
- ・中学部は、高等部の見学、体験学習を行い、生活単元学習の中で進路学習を行う。





協議の内容

質疑応答



Q 中学部と高等部の「働く意欲」の違いは？意欲を高める方策は？

学校：中学部では、段階を踏んだ手立てで「できた」という経験を積むようにしたり、振り返りで「次はこうしてみたい」などの目標を考えたりして意欲を高めている。高等部では、実際の職場で外部評価を活用しながら振り返り次の意欲につなげている。職業科、家庭科の教科があり、作業学習と組み合わせて働く力を高めている。

Q 「逢い」に通所している教え子が、絵の売れる画伯になっていた。作業学習では独創性も伸ばせたらいいのでは？

学校：陶芸班では「おともだち」という製品の顔をデザイン、家庭班では色やデザインのアイデアを出し合うなど、生徒の創意工夫を生かしている班もある。独創性は美術で培い作業学習では製品開発会議で生徒のアイデアを取り入れていきたい。



話題提供

尾崎小隣の「子どもプラザあおぞら」という施設で、作業学習の様子を掲示し、相談に来た人に見てもらいたい。

学校：ミニ学校展を様々な所で行っている。そちらでも展示できれば困っている人のヒントになるかもしれない。

コーヒー店の人事採用面接に立ち会った際、「働くときにどんなことが大切ですか？」「笑顔です」「辛いときも笑顔でいられますか？」というやりとりがあり、人間性がみられていると感じた。生涯学習センターの調査で、生涯学習は必要と考えている保護者が多いが、社会に出て継続している人は少ないことが分かった。学校と地域のつながりが大切であると感じている。

高等部の6割が中学校から進学とのこと。普通高校を目指す子どもが増え、高校入学がゴールになり、その先を考えていないと感じることがある。年長児が教育相談に来たとき、小学部だけでなく、中、高等部も見学してもらうことで、卒業後の生活にも見通しがもちやすくなる。中学校で作業学習はないが、挨拶や礼儀などが社会に出ることにつながると知り、段差を減らしていく指導の一つになればいいと思った。

学校：本校の職業教育を地域の特別支援学級の子どもたちにも還元できるよう、発信していきたい。

高等部生徒が、教師に納期について質問されていた。難しいことだが、社会に出るとそういう経験をする。自分の職場に障害者雇用の方がいて、悩みを伝えるなどコミュニケーションを取っている。作業学習でもコミュニケーションの力を高めることがねらいに関わってくると思う。困ったことは、発信した方が周りの理解を得やすいことを、生徒が理解できるといい。

学校：卒業生のよさ～①生産性がある。②挨拶、返事ができる。③意欲がある。
卒業生の課題～①相談できない。②周囲とコミュニケーションがとれない。③失敗を引きずる。本校で自己肯定感を高めて一般就労するが、社会に出てまた劣等感をもつ場合がある。

市役所で働いている発達障害のある方は、自分の特性をはっきりと伝えられるので、周りも対応できる。大事な力なので、早いうちから身に付けてほしい。



学校：卒業後の追指導で困っていることの間取りなどしているが、在学している間に、離職しないような力を付けていかなければいけない。ヘルプのできない子が多いのでどのように指導するか考えていきたい。卒業後、自立して社会に必要とされる存在になってほしい。

たくさんの御意見、ありがとうございました。